

# 第15回 チョウ類の保全を考える集い ご案内

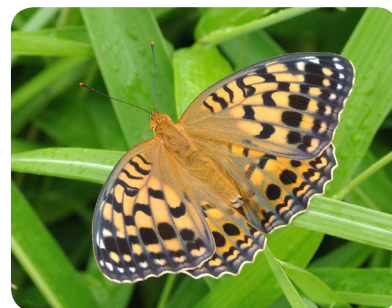
生きものが身の回りから消えることは、  
私たちの文化が消えること。

草原の火入れから、  
草原の草花やチョウを守ってきた文化を考え、  
アユモドキを守る取り組みから、  
田んぼと水路と川のつながりの大切さを知る。

生きものを守るために、  
全国で、日々、汗を流している人々がいます。

まずは、みんなで知ること、調べること。  
そして、歯車を元に戻すこと。

「チョウ類の保全を考える集い」を、今年も開催します。  
皆様のご参加を、お待ちしております。



日時：2019年2月16日（土） 10:30～17:30

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 研修室 309

主催：特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

## プログラム：

裏面をご覧ください。

## 参加申し込み：

参加費：1,000円

関心のある方は、どなたでもご参加できます。

参加する際、事前の申し込みは必要ありません。当日会場にお越しください。

終了後、18:00から同施設内のレストラン（カフェ・フレンズ センター棟2F）にて懇親会を開催します（会費3,500円）。

懇親会に参加を希望される方は、必ず2月10日までに事前のお申し込みをお願いいたします。

申込み先：裏面のお問い合わせ先まで。

## 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL03-3469-2525

本イベントは、センター棟3階の研修室309です。

アクセス：小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分

（急行は停車しないため、各駅停車をご利用ください）



## プログラム：

- 10:00～ 受付開始
- 10:30～ 開会
- 10:45～11:50 **川を通して、日本の自然を語る**  
新村安雄氏（リバーリバイバル研究所）
- 11:50～13:00 休憩（昼食）
- 13:00～15:00 **草原の管理とチョウ類**  
「草原を考える新たな視点：チョウからみた草原生態系と保全の意義」  
大脇 淳氏（山梨県富士山科学研究所）  
「火入れによる伝統的な草原の管理」  
増井太樹氏（岡山県真庭市）  
「火入れによるチョウへの影響」  
中村康弘氏（日本チョウ類保全協会）
- 15:00～15:30 休憩（協会ボランティア説明会）
- 15:30～16:30 **保全活動報告**  
「群馬県のミヤマシロチョウ」  
松村行栄氏（日本チョウ類保全協会・孺恋村高山蝶を守る会）  
「東京都裏高尾木下沢における森林整備と自然体験の普及活動」  
植木京子氏・吉野喜美子氏（木下沢溪谷冒険の森の会）
- 16:30～17:30 チョウ類保全協会の活動報告  
「日本チョウ類保全協会による、絶滅危惧種の保全活動」  
日本チョウ類保全協会事務局  
総合討論
- 17:30 閉会  
(懇親会：18:00～20:00 同施設内のレストラン「カフェ・フレンズ」)



## お問い合わせ先

\*\*\*\*\*

特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

140-0014 東京都品川区大井 4-1-5-201 TEL・FAX：03-3775-7006 TEL 携帯：080-5127-1696

Email：jbcs@japan-inter.net

URL：http://japan-inter.net/jbcs/

\*\*\*\*\*